

会場	プログラム	座長	座長所属機関名	発表時間	No	筆頭演者氏名	筆頭演者所属機関名	演題名
第3会場 205A-C	一般演題口演1 在宅療養	足立 誠司 宗好 祐子	鳥取市立病院 岡山赤十字病院	9:00-9:10	0-1	伊藤 貴之	医療法人秋本クリニック訪問看護ステーション	訪問リハビリ介入により終末期がん患者の生活目標（旅行）を実現した1症例
				9:10-9:20	0-2	小原 弘之	JCHO徳山中央病院 緩和ケア内科	多系統萎縮症に併発した進行肺がん患者にPEG造設を行った一例
				9:20-9:30	0-3	倉吉 和夫	鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 緩和ケア科	大学病院緩和ケアチーム介入ががん患者の転帰分析からみた地域連携の現状と課題
				9:30-9:40	0-4	山田 健介	総合病院山口赤十字病院 緩和ケア内科	在宅緩和ケアにおける携帯型ディスポーザブル注入ポンプPCA型を用いたオピオイド持続投与の導入経験
				9:40-9:50	0-5	亀井 滝士	美祿市立病院 外科	当院における在宅緩和ケアの現状と課題2026 -外科からの視点も踏まえて-
				9:50-10:00	0-6	田村 敦子	山口赤十字病院 薬剤部	多職種連携によりがん性創傷止血管理が可能となった一例 -在宅での20%硝酸銀液製剤の活用を考える-
	一般演題口演2 精神的苦痛	小早川 誠 松永忍	広島赤十字・原爆病院 安岡病院	10:10-10:20	0-7	沖政 盛治	県立こゑの森里病院	死の恐れから「自然（じねん）」へ宗教者との対話がえた一例
				10:20-10:30	0-8	濱田 昇	岡山市立市民病院 緩和ケアチーム	医師はなぜパリエツアルベインから距離を取るのか？経験年数がもたらす態度の変化－研修医と常勤医の比較から－
				10:30-10:40	0-9	村中 伊代	中国電力株式会社 中電病院 看護科	「生きさる」を支える看護～患者の意思を尊重した介入～
				10:40-10:50	0-10	小川 佐知子	地方独立行政法人 山口県立病院機構 山口県立総合医療センター 緩和ケアチーム	緩和ケアチームの介入によりつらさが軽減した非がん患者の一例
				10:50-11:00	0-11	市原 早紀	山口大学医学部附属病院 精神科神経科	Managing Cancer And Living Meaningfully (CALM)療法により死の恐怖が軽減した再発下咽頭癌患者の1例
				11:00-11:10	0-12	秋丸 香織	都志見病院 外来 緩和ケア専従	多方面からの介入で余生を前向きに過ごすことが出来た1例
	一般演題口演3 痛み・症状緩和	大槻 明広 尾崎 正和	鳥取大学医学部器官制御外科学講座麻酔・集中治療医学分野 山口大学医学部附属病院 薬剤部	11:20-11:30	0-13	中右 礼子	松江市立病院 緩和ケア・ペインクリニック科	進行癌に併発した上大静脈血栓の4症例
				11:30-11:40	0-14	松尾 綾芳	山口大学医学部附属病院麻酔科蘇生科	がん関連疼痛患者の運動器疾患疼痛に対しペインクリニック介入によるインターベンショナル治療が奏功した3症例
				11:40-11:50	0-15	米北 浩人	山口県済生会下関総合病院薬剤部	がん患者においてジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の長期投与が腎機能に及ぼす影響の検討
				11:50-12:00	0-16	藤井 知美	愛媛大学医学部附属病院 緩和ケアセンター	高用量オピオイド抵抗性疼痛に対し持続くも膜下ブロックが有効であった直腸がん局所再発の1例
				12:00-12:10	0-17	宮本 達人	松江赤十字病院 麻酔科	CTガイド下下腸間膜動脈神経叢ブロックをCT値の違いで薬液の広がりを評価し、施行後に良好な除痛を得た1例
				12:10-12:20	0-18	河野 友絵	総合病院 山口赤十字病院 緩和ケア内科	カンジダ性口内炎に対する当院緩和ケア病棟の取り組み～MR-Ts口腔ケア製品の可能性を探る～
	一般演題口演4 鎮静・緩和ケアチーム	糸宮 きのみ 吉本 歩	広島市立広島市民病院 松江市立病院	14:50-15:00	0-19	山田 美貴	山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院 緩和ケアチーム	予後の不確実な進行食道癌に併発した足趾骨髄炎の患者に対して、緩和ケアチームで治療方針の意思決定支援に関わった一例
				15:00-15:10	0-20	森山 未来	鳥根大学医学部附属病院 緩和ケアセンター	一般病棟における疼痛緩和のための持続的鎮静の実践に向けたマニュアルおよびカンファレンスシート作成と運用の取り組み
				15:10-15:20	0-21	森脇 茜	松江市立病院緩和ケア病棟	患者・家族の気持ちに寄り添い、自宅へ外出する希望を支える
				15:20-15:30	0-22	白鷺 美紀	中国電力株式会社 中電病院	輸血療法の影響を患者の価値観とし、緩和ケアチームで支援した骨悪性腫瘍患者の一例
				15:30-15:40	0-23	西岡 貴弘	社会医療法人 清風会 廿日市記念病院 緩和ケア病棟	鎮静開始を受け入れるために ～チーム連携がスタッフの心を軽くする～
				15:40-15:50	0-24	宮本 沙美	香川大学医学部附属病院麻酔・ペインクリニック科	Surgical ICU在室時から早期緩和ケア介入を行った食道癌術後患者のトータルペインへのかわり
第2会場 201A-C	一般演題口演5 ACP+α	村上 あさつ 今井 芳枝	香川大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 徳島大学大学院 医歯薬学研究部	14:50-15:00	0-25	境 次郎	社会医療法人 松涛会 安岡病院 西4病棟	終末期認知症患者の疼痛マネジメントにおける看護師の観察プロセスの変化 ・ベッドサイドケアで得た情報とPAINADスケールの統合活用に着目して・
				15:00-15:10	0-26	東安 里佳	山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター	A病院におけるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）推進のための現状調査 ～2024年度アンケート結果報告-
				15:10-15:20	0-27	大西 沙緒里	山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院 南館3階病棟	急性期病棟における終末期患者の情報共有のあり方について -全人的苦痛を抱えた壮年期癌患者へのACPの視点から-
				15:20-15:30	0-28	安永 陽子	光市立光総合病院	終末期がん患者の不確実性を前提とした意思決定支援 ～ACP実施後に緩和ケア病棟転機後も意思の揺らぎを認めた一例～
				15:30-15:40	0-29	大平 大輝	香川大学医学部医学科5年	MD8データが浮き彫りにした外来緩和ケアの世代間ギャップ ～当事者世代の医学生が提起するAYA世代へのアプローチと医学教育の共創～
				15:40-15:50	0-30	小野 芳子	山口赤十字病院医療社会事業部	緩和ケア病棟入院中の家族からの暴言・脅迫行為に対する管理者としての対応
				14:50-15:00	P-1	谷口 愛	すえなが内科在宅診療所	透析非導入を選択した50代糖尿病末期腎不全患者における在宅診療所の関わり
				15:00-15:10	P-2	柴田 敬子	山口県済生会下関総合病院 緩和ケアチーム	透析中断・非導入に関する看護師の価値観の認識と意思決定支援の実態
ポスター会場 3階ホワイエ	一般演題ポスター1 非がんの緩和ケア・終末期の諸問題	北岡 智子 内田 航	高知大学医学部附属病院 緩和医療科 山口県立総合医療センター 薬剤部	15:10-15:20	P-3	竹村 沙布	高知大学医学部附属病院 緩和ケアセンター	A病院緩和ケアチームにおける非がん患者への介入の現状と課題
				15:20-15:30	P-4	池内 智行	国立病院機構 米子医療センター 呼吸器内科	ラゾリ現象を経験して：蘇生処置なき心拍再開と医療における不確実性について
				15:30-15:40	P-5	内田 雅人	山陽小野田市市民病院	血液透析患者のアドバンス・ケア・プランニングの施行時期に関する検討
				15:40-15:50	P-6	伊藤 沙妃	総合病院山口赤十字病院麻酔科	術前管理中に予期せぬ両側性肺炎の増悪で人工呼吸器管理となりICUで終末期を迎えた残肺癌の一例
				14:50-15:00	P-7	土佐 めぐみ	益田赤十字病院 3階東病棟	訪問看護を利用せずにストーマ管理を行ないたい高齢者へのケア 自己効力感を引き出し在宅療養へと繋げる
				15:00-15:10	P-8	立石 彰男	たていし内科在宅診療所	在宅緩和ケアにおける緊急対応について～定期訪問、緊急訪問、訪問看護との連携
	一般演題ポスター2 地域連携・在宅医療	白木 照夫 伊藤 敬子	岩国医療センター 徳山中央病院	15:10-15:20	P-9	菊池 幸恵	市立八幡浜総合病院 地域連携室	高齢化・過疎地域における独居終末期がん患者の在宅移行への課題
				15:20-15:30	P-10	正岡 佳貴	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 日韓カトリック医療協会事務局	予後数週間の終末期がん患者における迅速な退院支援
				15:30-15:40	P-11	筒井 健一	フィン薬局	携帯型ディスポーザブル注入ポンプPCA型導入報告～調剤薬局の立場から地域連携を考察する～
				15:40-15:50	P-12	酒井 亮	明石内科クリニック	小児在宅医療の経験が無い診療所で行った、未就学児の脳幹神経障害患者の在宅看取り
				14:50-15:00	P-13	八木 道子	訪問看護ステーションそれいゆ 広島東事業所	本人が望む最期を迎えられるよう、家族の心の揺らぎを見守り支援した一事例
				15:00-15:10	P-14	芥川 亘	独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター 緩和ケアセンター	がんガロンにおけるLet' s Talk Cardsを活用したACP普及活動の実践報告
	一般演題ポスター3 ACP・意思決定支援・家族ケア	岡部 智行 浅原葉子	広島市立広島市民病院 山口宇部医療センター 緩和ケア病棟	15:10-15:20	P-15	河野 愛里	独立行政法人国立病院機構岩国医療センター緩和ケア病棟	終末期患者の夫の予期悲嘆への看護介入 ～フィンクの危機理論を用いて考察した事例～
				15:20-15:30	P-16	山尾 有紀	独立行政法人国立病院機構山口宇部医療センター緩和ケア病棟	家族エンパワメントモデルを活用した緩和ケア病棟での家族看護の実態調査 一家族看護に対する看護師の看護ケアの向上を目指して～
				15:30-15:40	P-17	白澤 由美子	山口労災病院麻酔科	急性期病院における自治体のエンディングカード導入の試み
				14:50-15:50	P-18	村松 百合香	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 緩和ケア推進室	終末期の多発性骨髄腫患者の希望の実現を家族とともに支援した1例 Shared Decision Making (SDM) を用いたAdvance Care Planning (ACP) の実践
				14:50-15:00	P-19	倉田 明子	広島大学病院 精神科	遅発性ICANSによる多彩な症状を呈し、精神心理的苦痛への対応を要した多発性骨髄腫の一例
				15:00-15:10	P-20	讃井 裕美	周東総合病院 産婦人科	元々の看取り時の心的外傷後ストレス症（PTSD）が遅延した更年期女性
一般演題ポスター4 様々な苦痛への対応	一般演題ポスター4 様々な苦痛への対応	河田 竜一 尼崎 正路	済生会下関総合病院 総合病院山口赤十字病院	15:10-15:20	P-21	千原 尚子	社会医療法人 松涛会 安岡病院 薬局	モルヒネ塩酸塩坐薬10mgの1/2回服用指示における分割の適正性評価
				15:20-15:30	P-22	中村 南乃	山口大学医学部附属病院	一般病棟に勤務する看護師のスピリチュアルペインの理解とスピリチュアルケアの実践状況
				15:30-15:40	P-23	松本 翔子	医療生協健文会 宇部立派病院	経済的問題により積極的治療を希望せず、がん自壊創管理と意思決定支援に難渋した左頬有棘細胞がんの一例
				15:40-15:50	P-24	田村 花子	鳥根大学医学部附属病院 麻酔科	腰部脊柱管狭窄症に化学療法誘発性末梢神経障害を併発した両足底の痛みに対して、パルス高周波療法で症状緩和を行いえた一例
				14:50-15:00	P-25	上田 佳奈	国立病院機構 岩国医療センター がん相談支援センター	A施設のがん患者の支援状況と課題
				15:00-15:10	P-26	佐々木 文子	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院 緩和ケア認定看護師	A・B病院の交流研修を通じた看護実践の再考 ～質向上に向けた方策検討～
	一般演題ポスター5 緩和ケアの質・グノム医療	山根 弘路 齊田 菜穂子	川崎医科大学 総合内科4 山口大学大学院 医学系研究科保健学専攻臨床看護学講座	15:10-15:20	P-27	前田 梨恵	山口大学医学部附属病院外来棟	グノム医療における早期からの緩和ケア ～外来看護の立場から患者の自己決定を支える実践をした一例～
				15:20-15:30	P-28	前田 梨恵	山口大学医学部附属病院外来棟	がんグノム医療の普及活動報告
				15:30-15:40	P-29	沖村 美香	山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 看護部	外来化学療法室における看護記録の見直しにより疼痛の早期発見と専門外来連携につながった一例
				15:40-15:50	P-30	武田 千津	愛媛県立中央病院 看護部	地域がん診療連携拠点病院である当院緩和ケアチーム活動の軌跡